

第28回総会誌

徳島玉翠会



「オリーブラインと屋島」

2021年(令和3年)度版

目 次

表紙題字：山下 俊文

表紙絵画：谷本 考司

	頁
ごあいさつ〔徳島玉翠会会長〕 長尾 哲見 -----	0 2
ごあいさつ〔玉翠会会長〕 槇田 實 -----	0 3
縁尋機妙〔元香川県立高松高等学校長〕 出射 隆文 -----	0 4
2020年度会計報告 -----	0 5
主な活動報告、徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿 -----	0 6
2021年度各玉翠会総会・懇親会のご案内 -----	0 6
移動式クーラー寄付経緯〔徳島玉翠会事務局長〕 坂口 英則 -----	0 7
メイキング「徳島玉翠会総会」 〔徳島玉翠会事務局長〕 坂口 英則 -----	0 9
玉翠会支部・徳島玉翠会員寄稿	
徳島の思い出〔関西玉翠会昭和40年卒代表者〕 玉置 通夫 -----	1 1
徳島暮らし～魅力再発見～〔徳島玉翠会員〕 軒原 尚子 -----	1 3
eスポーツの世界大会で優勝しました〔徳島玉翠会員〕 大西 将統 -----	1 5
表紙絵画「オリーブラインと屋島」への寄稿 〔高高美術部OB・OGグループ“一期一絵”代表〕 谷本 考司 -----	1 7
この一年〔徳島玉翠会員〕 中村 芳正 -----	1 8
北欧フィンランドへの誘い〔徳島玉翠会員〕 伊賀 弘起 -----	1 9
コロナ禍にも喜ぶべきことがある〔徳島玉翠会員〕 中原 大道 -----	2 1
絵画「豁然開朗（津田の松林）」〔徳島玉翠会員〕 邊見 千香 -----	2 2
徳島玉翠会会則 -----	2 3
2020年度会費納入者 -----	2 4
編集後記〔徳島玉翠会事務局編集担当〕 邊見 千香 -----	2 4

.....

賛助広告ご芳名

旭鉱石株式会社

いのもと眼科・内科

丸浦工業株式会社

いしたに耳鼻咽喉科クリニック

株式会社 小竹組

医療法人医生会 宮内クリニック

(五十音順)

ごあいさつ

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

会員の皆様にはご清栄の事と存じ上げます。

昨年はコロナの為に総会が開催出来ず、今年こそはと思っておりましたが感染拡大は収まる傾向が見えず、役員に諮り、残念ながら今年も中止とさせて頂きました。

しかし、今年も昨年同様総会誌を会員相互の交流の絆として発刊する事にしました。是非ともお目通し頂ければ幸いです。

また、大変恐縮ですが会費のお振込みも宜しくお願い致します。併せて広告を掲載して頂いた皆様には感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年来、国内外でコロナに人間関係のみならず、地域や国までもが分断された感があります。国の危機事態宣言により、三密対策としてステイホーム、在宅ワーク、学校の休校、イベントの中止・規模縮小やスポーツ等の無観客開催、飲食店等の時間短縮、都道府県間交流の自粛、航空便の中止、減便等々で人々の接触・交流が相当制限されました。

一方、コロナによる社会・経済対策としてのGoTo事業も感染拡大が止まらず、事業の見直しや、感染三波による医療崩壊が懸念される中、未だ収束に向けての見通しが見えません。

こうした中で、アメリカやイギリス等でワクチン接種の報道がされていますが日本においても安全性の検証が出来次第一日も早い接種が待たれます。

また、昨年、関西支部がズームによる総会を開催して私も徳島支部を代表して参加しましたが、こうした取り組みも今後の活動に際して検討する必要があると思います。

今年の箱根大学駅伝は過去最高の視聴率でした。お正月、ステイホームもあったと思いますがタスキを後のランナーに繋ぐために必死にひたむきに走る姿に多くの国民が感動をもらいました。このタスキこそ絆の象徴だと思います。

徳島玉翠会の総会もこのタスキと同じく、高中、高女、高松高校と異世代会員を繋ぐ絆として後輩たちに末永く繋いでいきたいものです。改めて今回のコロナ禍でその意義を噛み締め、次の世代に繋いでいければ幸せです。

今後とも役員一同、会員の皆様に喜んで頂けるように本部や他支部とも連携しながら徳島支部の運営に反映してまいりたいと思います。

最後になりましたが会員の皆様には健康に留意され次回の総会で元気で再会出来る事を楽しみにしてご挨拶とさせて頂きます。



徳島玉翠会の皆様におかれましては、日頃より当会の事業運営に関しまして、一方ならぬご支援、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

又、医療関係の皆様の多大なご苦勞に対して心より厚くお礼申し上げます。

今年の干支は「丑」です。「子」年に蒔いた種が、芽を出して成長する年とされています。しかし、昨年からの新型コロナウイルスの影響で、成長どころか、大変な「丑年」になりそうです。

去年は、我々が過去に経験した事のない一年となりました。「緊急事態宣言」での自粛、「手洗い」「消毒用アルコール」「ソーシャルディスタンス」そして「マスク」。もう、「マスク」無しの生活は成り立たない社会となりました。「マスク」の代替えの物が出来る迄、暫くは続くと思います。

でも早く「マスク」を付けなくても安心の生活に戻りたいのは、私だけではないと思います。

一刻も早く、ワクチンの接種が進み、安心した生活が送れる様に祈るばかりです。

「東京オリンピック・パラリンピック」も、是非ともに開催して欲しいですが、現況を考えると、かなり厳しい事態となりました。聖火リレーもスタート出来たのでしょうか。暗いニュースばかりの今の時期、新型コロナが早く沈静化して、明るいニュースとして開催出来ます事を祈念致します。

新たな環境の中での、慣れていない我々にとって不便と思われる社会生活を「ニューノーマル」と位置付けて、順次対応順応して行かなければならないとの思いです。

来年こそは、総会が開催され、皆様とテーブルを囲んで懇談会食の出来る様に期待致します。

しかし、明るい話題も無く、厳しい一年となるかも知れませんが、新型コロナウイルスに負けずに、「徳島玉翠会」の皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶にさせていただきます。



縁尋機妙

元香川県立高松高等学校長 出射(いでい) 隆文

平成 30 年 4 月に高松高校に赴任し、3 年の任期を終え令和 3 年 3 月に定年退職になりました。

この間、2 度徳島玉翠会総会・懇親会に参加させていただきました。3 回目となる第 27 回総会・懇親会が新型コロナウイルス感染症対策のために中止になり、会員の皆様にお会いできなかったことはとても残念でした。



参加した 2 度の総会での特別講演会は、寺嶋吉保先生の「25 分でわかる明るい終活～人生の最終段階の医療を考える基礎知識～」や佐藤哲也玉翠会副会長の「こんなに違う！ 四国四県の酒（と、四県の酒蔵の親父の性格）」というタイトルの講演でしたが、どちらもとても勉強になりました。

懇親会では出席者の 1 分間スピーチを聞かせていただくことで、ご参加の会員のみなさまのことがよくわかるとともに、クイズ大会もあり、とてもアットホームな雰囲気が好きでした。また、長尾会長さまをはじめ、いろいろな会員のみなさまとのいろいろな話で盛り上がりとても楽しいひと時でした。

個人的な話になりますが、私の義理の両親ともに三好郡山城町（現三好市）の出身ということもあり、徳島県をととても身近に感じておりました。また、平成 30 年、令和元年度と 2 年間香川県高等学校体育連盟会長を務めていたこともあり、四国大会等で徳島県に来る機会も多くありました。

ところで、『地蔵本願経』に、^{えんじん き みょう}縁尋機妙という言葉があります。“良い縁は次から次へと良い縁を結んでくれます。縁とは誠に不思議なもの、計らざるもの”という意味ですが、徳島玉翠会の会員のみなさまとのご縁も私にとってとても大切なものになりました。

これまで徳島玉翠会のみなさまには、在校生による徳島大学医学部訪問をはじめ、本校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜りました。また、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のために更なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、本総会の盛会とご参会の皆様方のますますのご健勝、徳島玉翠会の更なるご隆盛を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

主な活動報告

年 月 日	内 容	場 所
2020年 5月10日	第27回総会誌送付作業・役員会（第3回）	ホテルサンシャイン徳島
10月10日	第27回関西玉翠会オンライン総会（長尾会長参加）	
2021年 1月15日	第28回総会・懇親会中止のお知らせをHPに掲載	
4月 6日	2020年度会計監査（中村会計担当・寺嶋監事）	徳島市内喫茶店
5月23日	第28回総会誌送付作業・役員会（第1回）	ホテルサンシャイン徳島

徳島玉翠会役員・事務局関係

役員名簿

役 職	氏 名	卒 年	役 職	氏 名	卒 年
会 長	長 尾 哲 見	昭和 4 4	副会長兼会計	中 村 芳 正	昭和 4 2
副 会 長	香 川 典 子	昭和 4 7	副会長兼事務局長	坂 口 英 則	昭和 4 8
副 会 長	松 原 淳	昭和 6 0	監 事	寺 嶋 吉 保	昭和 4 8
幹 事	岡澤恵美子	昭和 3 5	幹 事	七 條 政 志	昭和 4 3
幹 事	名 尾 和 弘	昭和 5 0	幹 事	伊 賀 弘 起	昭和 5 1
幹 事	丸 浦 世 造	昭和 5 1	幹 事	塩 見 一 義	昭和 5 3
幹 事	西 良 浩 一	昭和 5 7	幹 事	加 藤 弘 道	昭和 5 8
幹 事	佐々木園子	昭和 5 8	幹 事	中 原 大 道	平成 6
幹 事	吉田守美子	平成 7	幹 事	山 下 一 太	平成 8
幹 事	原 口 陽	平成 9			

事務局名簿

事務局長	坂 口 英 則	昭和 4 8	会計担当	中 村 芳 正	昭和 4 2
編集担当	邊 見 千 香	昭和 4 9	名簿担当	坂 口 英 則	昭和 4 8
懇親会担当	松 原 淳	昭和 6 0	HP担当	中 原 大 道	平成 6

2021年度各玉翠会総会・懇親会

玉翠会名	事務局長	日 時	会 場
東海玉翠会	菅野正朗（50年卒）	中止	
東京玉翠会	土田 充（53年卒）	7月 10日（土）14:30	オンライン開催
関西玉翠会	田島朋子（49年卒）	未定	
岡山玉翠会	仁木 壯（46年卒）	11月 21日（日）11:00	アークホテル岡山

お問い合わせ・ご連絡は 事務局（連絡先は裏表紙に掲載）まで

新型コロナウイルスと移動式クーラー

徳島玉翠会事務局長 坂口 英則（昭和48年卒）

昨年、徳島玉翠会では母校である高松高校へ何らかの貢献をするという本会の主旨に基づき、移動式クーラー2台を寄付させていただきましたので、その経緯を簡単に述べたいと思います。

令和2年初頭から新型コロナウイルスの感染者数が急増し、政府は新型コロナウイルス対策の特別措置法を3月13日に成立させました。その後の経過は以下のとおりです。

4月 7日：東京都をはじめ7都府県に緊急事態宣言を発出

4月16日：同宣言の対象を全国に拡大

5月14日：8つの都道府県を覗く39県で宣言を解除

5月25日：全国で宣言を解除

こうした新型コロナウイルスをめぐる情勢の中、徳島玉翠会では総会開催となると県をまたいだ人の移動が避けられないこと、会員の多くは高齢者であること等を考慮し、4月6日、徳島玉翠会総会の中止を決定し、玉翠会、各玉翠会支部等に連絡をさせていただきました。

全国に緊急事態宣言が発令中の4月下旬、会員の方から徳島県の医療関係者に医療崩壊防止のため、本会から30万円～50万円程度の寄付をしたらどうかという提案がなされました。

そこで本会会員の医療関係者の方にこの提案についてのご意見をお伺いすると、今後状況がどう展開するか見通せないこと、漠然とした寄付になりかねないこと、国や県の億単位の支援がないと医療危機は回避できないこと等の意見が寄せられました。併せて、医療関係への寄付よりは、新型コロナ蔓延で休校となって大きな影響を被っている高松高校のweb環境整備等、この時期に母校のため何か役立つものに使ってもらった方が良いのではという意見をいただきました。

連休明けの5月10日、総会誌発送時の役員会に上記意見を諮ったところ、全員の賛同を得たので玉翠会事務局に寄付の提案をさせてもらいました。寄付金の使い道については当方では学校の事情が分からないので、玉翠会を通じて高校の方で考えていただくようお願いもしました。

この結果、学校では春の休校の遅れを取り戻すべく、猛暑の中、勉学に励んでいる生徒さんにはクーラーが必要ということで、移動式のスポットクーラー2台を希望されたという返事を玉翠会を通じて6月にいただきました。公立高校ということもあり教育委員会の裁可を仰いで許可が出れば導入ということになりました。

この寄付の件は学校の方で各玉翠会支部にもお話をいただいたようで、結果的には玉翠会、各玉翠会支部が経費を分担するという形となり、本会からは経費の約3分の1の10万円の

寄付ということになりました。

こうして昨年6月23日にクーラー2台（写真）が納品されました。

今年も新型コロナの収束は見えず、残念ながら徳島玉翠会総会も2年続いての中止となっ
てしまいました。今後ワクチン接種が順調に行われれば事態が好転するものと期待しており
ます。

来年は是非とも総会を開催し、会員の皆様方とお会い出来ることを楽しみにしております。



メーカー「徳島玉翠会総会」

徳島玉翠会事務局長 坂口 英則（昭和48年卒）

昨年の徳島玉翠会総会が新型コロナウイルスの蔓延で中止に追い込まれ、毎年この会を楽しみにされていた会員の皆様に対し、当会役員として申し分けなく思っております。

ただ、新型コロナウイルスは何処に潜んでいるか分からないので、会を開催すれば「3密」は避けられず、会員の皆様にもしもの事があれば一大事になりますので何卒ご理解をお願いします。

さて、毎年開催をしてきた徳島玉翠会総会、どのようにして開催にこぎつけているのか、その舞台裏をここで少しご紹介をさせていただきたいと思います。

スタートは前年の12月に始まります。準備委員会役員が徳島市内某所の喫茶店に集まり、まず開催日程と開催場所を決定します。と言いましても場所は「ザ グランドパレス」で固定ですから、6月の第3か第4土曜日の予約を入れます。

一番頭を悩ませるのが「特別講演」をしていただく演者の人選です。委員間で色々と意見を出してもらい、この人が良いね、という方に後日連絡を取り、同意をいただいております。

次に総会誌に寄稿いただく方の人選です。まず狙われるのが初めて前回の総会に出席いただいた方ですね。毎回快く引き受けて下さいます。次が表紙の絵を提供いただいた方、近年は高高美術部OBの方の絵を使っておりますが、絵をお願いした上に文章までお願いするという荒技を繰り返しております。こちらも快く応じていただいております。

あとは毎年の事です、前年度会計内容の報告、総会時にお渡しする資料作成の役割分担の決定等を行います。

第1回目の委員会終了後、最も忙しくなるのが総会誌の編集長であります。原稿をお願いする方への依頼メール、毎回広告を掲載いただいている方へのお願いメールなど、いっぱいする事があります。

第2回目の委員会を大体3月の最終週くらいに市内某所で開催します。ここでは他支部総会の開催日程の周知と出席者の選定、特別講演をしていただく方のプロフィール及び講演内容の概略原稿の確認、総会誌原稿の集まり具合と編集状況の報告、総会誌発送作業の日時及び場所の決定及び当日の準備物及びその担当者の決定を行います。

発送作業の日までに葉書や封筒のお買い物や総会案内・葉書・タックシール印刷やはんこ押し、会費納入振込書作成等の作業がありますが、これは担当者が一手に引き受けて泣きながら（ウソです）作業を行います。これらが無いと発送ができません。

また総会誌は大体ゴールデンウィーク前後に美しく（自画自賛）出来上がります。

さていよいよ発送作業日、ゴールデンウィークの次の日曜日になることが通常ですね。役

員がそれぞれ担当した物とお菓子と飲み物を持参し、市内某所で流れ作業でタックシールを貼った封筒に印刷物をどんどん詰めていきます。

その後、次回の役員会の日程を決めて終了です。これが終わると精神的に一段落できます。やれやれ。

6月の第1週に役員会を開催し、出席者の確認、総会準備物及び担当者の割り振り、総会時の役割分担を決めます。

この時、出席者の人数が少なければ、役員の知り合いや伝手を頼って出席者の勧誘を行います。出席者が多いほど楽しい会になりますからね。

次に総会2日前に開催場所であるホテルに役員が赴き、ホテルの担当者と打合せ。部屋や依頼事項（テーブル、食事、飲み物、マイク、スクリーン等諸々）の確認を行います。こうして総会当日を迎えることとなります。

総会当日は役員が事前に集合し、準備状況をチェックし、来賓や参加いただく会員の皆様をお迎えすることになります。

過去、万全の準備をしたつもりでも様々なトラブルが発生しましたが、そこは高高卒業生、臨機応変、機略縦横、電光石火で何とか乗り切って参りました。

このように、開催にこぎつけるまでには様々な作業があり、役員の方々には大変なご苦勞をお掛けしておりますが、出席された方々が短い時間ではありますが、昔話に花を咲かせたりして楽しい時間を過ごしていただければ、準備をする者としてこれ以上の喜びはありません。

今年も新型コロナウイルス感染が収束を見ず、やむなく2年連続の中止となりましたが、総会誌は何とか発行することができました。

来年は開催出来ることを祈りつつ、駄文を終わらせていただきます。

徳島の思い出

関西玉翠会員寄稿

関西玉翠会昭和40年卒代表者 玉置 通夫（昭和40年卒）

徳島は、青春の1ページを飾った土地である。昭和45年3月、早稲田大学を卒業した私は、毎日新聞社に記者として入社。初任地が、徳島だった。当時は人口19万人で、国鉄徳島駅に降り立つと、眉山が眼前に迫る素朴な町だった。そこで過ごした昭和49年4月までの4年間、衆院選や参院選、知事選に徳島市長選、県議らの統一選、公害による汚染魚騒ぎ、オイルショックによる鳴門架橋計画の凍結、森永ドライミルク事件のやり直し裁判など、なにかと出来事の多く、激動の時代だった。なぜ、あんなに活気があったのか。商店街には人が溢れ、夜の飲み屋街には人情味のある阿波女がいっぱいいたように思う。

両国通りにある支局は記者が5人しかいなかったため、事件だけではなく県政や市政、地方選挙、教育問題、世論調査となんでも手伝わせられた。しかし、あとから考えると、それが新聞記者としての視野を広げるきっかけにもなった。とりわけ、いまでも印象深く思い出すのが、49年春の高校野球で全国に名を知られるきっかけとなった「池田イレブンの快挙」だ。三好郡池田町（当時）にあった池田高校は蔦文也監督の熱血指導で県下の有力校ではあったが、もう一つチャンスをつかめず、ようやく47年になって夏の甲子園出場を果たし、1勝しているものの、全国的には無名に近かった。それが49年春は難敵を撃破して準優勝してしまったのだ。小松島港では帰県した一行を多くの群衆が取り囲み、昭和39年の春を制した海南高以来のフィーバーとなり、池田高校では盛大な祝賀会まで催された。

私は、2月1日に甲子園出場が決まると、池田まで日参し、徳島版に記事を書きまくった。学校には正式の部史めいたものがなく、OBを手当たり次第に取材して歴史を掘り起こした。そこで興味を持ったのは、蔦監督の人生だった。名門・徳島商の一塁手、エースとして昭和14年、15年の春に甲子園出場を果たしたものの、14年は1勝しかできず、15年は初戦敗退だった。進学した同志社大学ではエースとして活躍したが、戦争のためリーグ戦が休止となり、特攻隊員として終戦を迎えた。戦後はプロ野球の東急フライヤーズに入団するも1年でクビになり、池田に帰ってブラブラしているところに池田高の教員採用の話があり、野球部の面倒をみることになった。それ以来、一般社会の教師として授業を受け持つとともに、野球部監督として甲子園出場を夢見てきた。

そんな野球エリートではあったが、監督としては失敗の連続。豊富な人材を誇る徳島商や鳴門に比べ、山間部の池田に来る人材は乏しい。その学生を鍛え挙げたが、神経質な性格も手伝って、細かいことに拘ってチャンスをつぶしてきた。ところが、性格的には正反対と思える白川進部長（国語担当）とのコンビが、新天地を切り開いた。松山市での48年秋の四国大会では、試合前日、白川部長がOBに声をかけ、蔦監督を連れ出して痛飲させた。おかげで、翌日は二日酔いのまま試合に臨み、細かいサインが出せず、ほぼ生徒の自主性に任せたところ、本盗を決めるなどして優勝候補の高知高を破り、そのまま勢いに乗って準優勝し甲子園切符をたぐり寄せた。

しかし、蔦監督には悩みがあった。わずか12人の部員のうち、1人が家庭の事情により退部を申し出たのだ。わずか11人では練習にも不自由するが、いまさら補充もできない。とにかくやるしかない、と決めて臨んだのが、思わぬ話題を呼ぶことになった。開会式直後

の第一試合に登場したが、本盗を絡ますなどして函館有斗（北海道）に競り勝った。試合後のインタビューで、蔦監督は「次は負けるでしょう」と突拍子もない返事をして話題になった。さらに防府商（山口）にも勝つと、蔦監督は風変りな監督として人気を集め、11人の選手とともに大会を盛り上げた。続けて、倉敷工（岡山）、和歌山工（和歌山）を退けて決勝まで勝ち上がった。その前日、メディアの取材に対し、それまでリラックスするために使っていた「負けるでしょう」という発言を引っ込めて、初めて「明日は勝ちます」と断言した。この時、本当に勝ちたいという意識が芽生えたのだと思う。ところが、試合は8回裏に守備の乱れを突かれて2点を勝ち越され、そのまま押し切られた。この部員11人对55人の対決となった報徳学園（兵庫）戦は、地元を圧する「イレブンのファン」による声援で、満員となった場内は異常な雰囲気包まれたのを覚えている。

こうして、自信をつけた蔦監督は、以後甲子園の常連となり、打力を徹底的に磨いて「やまびこ打線」といわれる強力打線を作り上げ、夏春連覇など高校野球史に池田時代を刻印した。思い切って打たせる采配は「攻めダルマ」との異名を取り、園遊会にも招かれる全国的な有名人にもなった。私が大津支局、大阪本社運動部へ行ってから交流は続き、自宅で営まれた葬儀・告別式にも参列した。その際、イレブン時代の選手らが駆け付けて、優勝した後輩たちに指示を与え、受付などの作業に当たっていたのが強く印象に残っている。まさに、蔦監督の原点を見る思いだった。

蔦監督は池田高校を一度も離れることなく奉職し続け、定年後も監督として野球部を指導し、20年前に亡くなった。白川部長も一昨年に亡くなり、池田高もなかなか勝てなくなった。「イレブン」という大きな遺産を抱えながら、戦国時代と評される県下の高校野球界の中で苦闘する日々だ。再び、池田高校が甲子園で活躍するのは、いつになるのだろうか。



徳島暮らし～魅力再発見～

徳島玉翠会員寄稿

軒原 尚子（昭和62年卒）

17年ぶり、二度目の徳島暮らしも3年が過ぎました。2019年には初めて徳島玉翠会に参加させていただきました。先輩方が温かく迎えて下さり、日本酒のお話、徳島クイズ、スピーチなど楽しい時間を過ごしました。長年の東京での生活はとても充実したものでしたが、都会特有の忙しさから、常に次の事を考えているような緊張感が続いていたように思います。こちらに来てからは、新鮮な海の幸、山の幸、身近な自然、ゆったりとした時の流れ…など、普段の暮らしが実に豊かであることを再発見しました。コロナ禍の今、当たり前だった日常の大切さが身に染みる事も多く、どのような状況の中でも、出来ることを考え、日々の暮らしに小さな幸せを見出すことは、心身の健康のためにも欠かせないことだと感じています。以下はそんな徳島暮らしの日記です。

某月某日 産直市で買い求めた肉厚でジューシーな椎茸と新鮮な蓮根。シンプルに塩をふって焼き、すだちをギュッと絞っていただく。爽やかな香り。天然の鯛と瀬戸内のタコも身がしまり、ほのかな甘味が感じられる。

夫(62卒)が嬉しそうに、「凱陣」を呑んでいる。

某月某日 月見ヶ丘へ。コテージやデイキャンプ場もある広大な公園の敷地の先には目が覚めるようなブルーの海。遊歩道では、釣り人や犬を散歩させる人、ウォーキング中のご老人が行き交う。キャンプ場には、私達を含めいくつかテントが張られている。小さな子供連れのファミリー、ご高齢のカップルが十分にソーシャルディスタンスをとれる環境で、くつろいだり調理を楽しんだりしている。風はまだ冷たいが、空は晴れ渡り、小鳥たちのさえずりが聞こえる。雑草が芽生え、小さな川の底には水草の緑が揺れている。Spring has come. リーダーだったか、高校の教科書の一節が浮かぶ。春の訪れを思う。どこからか美味しそうな匂いも。

夫が全集中の呼吸で阿波尾鶏を焼いている。

某月某日 マスクをして新町川沿いを歩き、市立図書館へ。駅前に、明るく緑を生かしたデザインの図書館があるのは嬉しい。本はstay homeの良き友である。以前暮らしていた頃は水際公園や藍場浜公園で子どもを遊ばせるのが定番のお散歩コースだった。橋の近くにパン屋さんやドラッグストアがあり、東新町にもお店がたくさんあった。買い物や食事を楽しんだ百貨店、そごうは、昨年閉店した。中心部の賑わいを懐かしく思い出す。寂しい気持ちになるが、ふと見上げれば、困難な時代でも眉山は変わらず優美な姿で街を見守っているようだ…。

徒然なるままに、綴ってみました。年を重ねて、徳島だけでなく、香川の魅力も再発見しています。讃岐うどんは言うまでもありませんが、穏やかな気候と人、明るい陽光を受ける街並み、木々や花々の色彩の鮮やかさ。瀬戸内海の恵みに、四季折々の栗林公園…。

そして何より、高高時代の思い出や、時を超えてなお繋がっていく母校のご縁は、各地で暮らす同窓生をどんな時も励ましてくれるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、皆さまのご健康と制限の多い高校生活を余儀なくされている高高生が日常を取り戻し、のびのびと青春を謳歌できるようになることを心から願っています。



某月某日の月見が丘キャンプ場



某月某日の眉山からの徳島市街

匠の心、未来へ。



KOTAKE
株式会社 小竹組

〒760-0062 高松市福岡町4丁目28番30号
TEL: (087) 851-9096 FAX: (087) 822-6975
URL: www.kotakegumi.com

e スポーツの世界大会で優勝しました

徳島玉翠会員寄稿

大西 将統（平成25年卒）

2021年3月に徳島大学医学部を卒業しました大西将統（おおにしまさと）と申します。この度は、大学在学中にお世話になっておりました香川典子先生の紹介で寄稿させていただくことになりました。タイトルの通り、私がeスポーツの世界大会で優勝したお話をさせていただきますと思います。

『eスポーツ』、近年のメディアによる報道等で一度は耳にしたことがある方は多いのではないのでしょうか。言葉の定義としては、ビデオゲームやモバイルゲームを使用した対戦を競技として捉えるものです。ただ、「実際何をしているの?」、「普通のゲーム大会と何が違うの?」といった疑問を抱く方も多いと思います。そこも含めて、私がeスポーツを始めた経緯を紹介します。

中学時代、私は部活の時間になるとグラウンドでサッカーボールを追いかけて走り回るサッカー部員でした。その中で出会ったのが『ウイニングイレブン』というサッカーゲームです。1人でTV画面上の11人の選手を操り、得点を目指すゲームなのですが、このゲームに魅了されて学校と部活と学習塾の合間時間によくやっていました。始めは他の部活仲間とすることが多かったのですが、だんだんと力の差を感じてお互いにつまらなくなったのか、家で1人用のオンライン対戦をすることが多くなりました。オンライン対戦とはネットにつながった顔も素性も知らない人と試合をするモードです。このモードでは自動的に同じくらいの実力の相手と試合することができるので、とてもめり込みました。この頃からウイニングイレブンの全国大会や世界大会の映像をみて、ぼんやりとですが自分も出てみたいと思うようになりました。

浪人を経て無事に大学生となりましたが、最初は勉強や部活やバイトに忙しく中々ウイニングイレブンをする機会はありませんでした。しかし、大学3年生の春にこのゲームの世界大会要項が発表され、その優勝賞金がなんと2400万円でした。さすがに世界一になるのは無理だと思いましたが、ちょっと頑張ってみようと思い、そこから猛特訓しました。その結果、なんと無名の選手ながら全国ベスト8まで進むことができ、「本気で取り組めば日本一も狙えるのではないか」と思うようになりました。

ちょうどこの頃から様々なジャンルのゲームの賞金総額が高騰し始め、メディアでも『eスポーツ』という言葉が扱われるようになりました。そのブームに乗っかり、私も部活やバイトを辞めて本格的にeスポーツに取り組むようになりました。その後もアジア競技大会という、いわゆるアジア版オリンピックに採用されたウイニングイレブン部門の日本代表選考会であと1勝すれば日本代表というところに迫ったり（日本代表となった選手は金メダルを獲得）、同じくウイニングイレブンを採用した茨城国体に県代表として出場したり、大阪に本拠地をおくプロeスポーツチームと契約を結ぶなど、忙しい勉強や病院実習の合間をぬってeスポーツの活動に尽力しました。

そんな私も大学5年生となり、国家試験の時期が近づいてきました。この頃からだんだんと私も今後のウイニングイレブンとの付き合い方を考えるようになりました。医師になれば、初期研修に始まり忙しい日々が続くため、もうTVゲームを十分にすることは

と思ったのです。ウイニングイレブンとは毎年1回夏にヨーロッパで世界大会が開催されるのですが、悩んだ末、私は去年のそれを最後にeスポーツ選手としての活動を引退しようと決意しました。日本には多くのプロのeスポーツ選手がおり、彼らの収入源は大会賞金、スポンサー料、動画配信の広告収益などです。実業団契約をしている選手もいます。私は、世界大会はおろか、アジア大会で好成績をおさめたこともなかったので、プロとしてやっていくには実力不足だと考えたのです。

そんな心境で迎えた世界大会ですが、去年はコロナ禍で従来通りとはいかず、全国大会の予選からすべてオンライン開催となりました。しかし、そのことが私にはかえって追い風となりました。というのも、私は徳島県在住で平日休めない病院実習をしている身だったので、全国大会や海外の大会は日程や移動時間の関係で参加することが難しいことが多かったのです。また、緊張しやすい私にとっていつもと同じ環境（自宅）で試合をできるオンライン開催はまさにうってつけでした。全国大会、アジア大会と無事に勝ち上がり、世界大会では予選敗退直前まで追いつめられるも何とか勝ち上がり、準決勝ではブラジル代表、決勝では同じアジアのインドネシア代表を倒し見事優勝することができました。

大会前はさすがに優勝できるとは思っていなかったもので、とても嬉しかったことを覚えています。優勝を機に本当に多くの方からお祝いの言葉やプロ選手としての勧誘を受けました。少し心がぐらつきしたが、「この優勝は勉強とeスポーツを両方頑張ってきた自分への神様からのご褒美で、eスポーツ一本でやっていく実力はない」と自分に言い聞かせて、最前線からは引退することにしました。

今春からは、香川県内の病院で初期研修医として勤務する予定です（この原稿執筆時には国家試験の結果が出ていませのであくまで予定ですが）。ラグビーの福岡選手や柔道の朝比奈選手が私立大学医学部に入学するなど、近年はプロスポーツの世界大会で優秀な成績を残している方が医師との両立を目指すことも多いようです。私がそのような選手たちと並ぶとは到底思えませんが、将来医師を目指すゲーム好きな子供たちの憧れとなればいいなと思います。将来は精神科医となり、ゲーム障害を専門にする医師になりたいと考えています。ゲーム障害とはゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる疾病のことですが、2019年にWHOで認定されたまだまだ新しい疾病なので、やりがいがあると考えています。自身の経験を通じて、患者の方の気持ちに寄り添う診療ができるようになりたいです。香川県では2020年にネット・ゲーム依存症対策条例が施行され、全国的に話題となりました。そのような土地で生まれ育った私がゲームの世界大会で優勝し、医師となるのは少し運命的なものを感じます。青少年が健全にネットやゲームに取り組み、健康な心身の発育を手助け出来る医師になれるよう努力していきたいと思います。

次頁（p 17） 写真左は、eスポーツ選手の筆者
写真右は、国家試験に臨む医学生 of 筆者



表紙絵画「オリーブラインと屋島」への寄稿

高松高校美術部 OB・OG グループ “一期一絵” 代表

谷本 考司（昭和50年卒）

J R 四国の高松駅を出て、左手に見える四国一高い超高層ビル、シンボルタワーの方向に足を進め、かつての国鉄宇高連絡船の埠頭跡地に建てられている旅客ターミナルビルから高松コリドー(フェリー乗り場連絡橋)を
通って栈橋へ向かうと、海景色が広がります。

高松駅周辺は、昔から大きく様変わりしましたが、瀬戸内の穏やかな青い海と風、防波堤、灯台、屋島の眺めは昔と変わらないように思います。

表紙の作品は、高松港と小豆島土庄を1時間で結ぶ小豆島フェリーのオリーブラインの出港風景です。

船上の赤い煙管と白い船体、波打つ海、台形状の屋島が印象的な高松港らしい風景を描いてみました。

多くの船が出入りする高松港を眺めていると時の経つのも忘れてしまいます。皆様も一度、訪れてみては如何でしょうか？



この一年

徳島玉翠会員原稿

中村 芳正(昭和42年卒)

新型コロナで振り回されたこの一年、自分の生活を振り返ってみる。

全く自由に遊びまわっていたが、その自由が徐々にではあるが奪われていく。

月曜日は町主催の「肩こり腰痛予防ストレッチ講座」、火曜日は町内の老人クラブの「パソコン教室」、「いきいき百歳体操」、水曜日は「健康ボウリング大会」、木曜日・金曜日に「ゴルフ」を入れ、土曜日は「バードゴルフ大会」、空いた時間でジムでの筋トレ、バードゴルフの練習とできる限りスケジュールを入れ、楽しい老後生活を組み立てていた。

まず老人クラブの方から、密を避けるため、当面の間、会を休止するとの連絡があった。ボウリングもチーム戦で皆とよくしゃべるため自主的に中止とした。ジムでのクラスター発生の報に接し、これも自主的に中断（その後退会）。ストレッチ講座も役場から中止案内が届く。ゴルフも、外でのプレーとはいえ、密になる場面もあるので、月1回程度に抑える。バードゴルフはゴルフ場が近く歩いて行けること。一人でプレーできるため、ゴルフほど密にならないことで、練習を続けていたが、体協から4月、5月は練習も禁止との通達がくる。この2カ月は厳しかった。外に出るのが、日常生活の買い出しと夫婦でのマスクをつけての散歩だけになった。これではいけないと思い、バードゴルフ場の雑草抜きを、人がいない時間に一人で行った。腰痛持ちなので、長時間はできず、毎日1時間と決め、一ホールを10日間くらいかけて行った。座り込んで草抜きをしていたので、終わって立ち上がろうとする時、腰が壊れるのではないかと思えた。雑草が多いと、1時間かけても数メートルしかできないときもあり、なかなか目に見えた成果は出なかった。さすが2カ月もすると、誰が見ても綺麗になったことが分かり満足できた。またメンバーの方からもよくやってくれたと言っただき、苦勞が報われた気がした。5月末からは、二人以下でプレーができるようになり、6月からは一定の制約の中ではあるが、月例等の試合も行うことができるようになった。

現在、月曜は規模を縮小した「ストレッチ講座」に参加し、火曜日はパソコンのズームを利用し自宅で「いきいき百歳体操」を楽しんでいる。また自宅で、ストレッチ、体幹トレーニング、筋トレを組み合わせで行っている。ボウリングはまだ復活できていない。ほとんど毎日、バードゴルフの練習に行き、技術の習得、メンバーとの会話、歩数の確保などでストレスの解消を行っている。

中学校の学年同窓会の幹事をしているが、今年も同窓会の開催は難しいようなので、皆から原稿を集め、かわら版のような近況報告書を作成しようと案内をしたところである。どんな原稿が集まるか楽しみである。



アフターコロナのお楽しみ

北欧フィンランドへの誘い

徳島玉翠会員寄稿

伊賀 弘起（昭和51年卒）

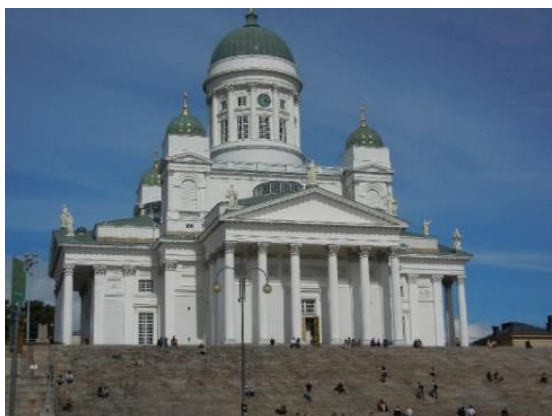
私は10数年前より職場（徳島大学歯学部）の国際交流を担当しており、その中でフィンランドの首都ヘルシンキにあるメトロポリア応用科学大学との国際交流協定締結のお手伝いをさせて頂きました。それ以降、様々な時期のフィンランドを訪問する機会を得ましたので、その魅力の一端を紹介させて頂きたいと思います。

さて近年、テレビでも北欧を紹介する旅番組が増えたと思われませんか？事実、多くの日本人が北欧を訪れているようで、フィンランド航空

（フィンエアー）と日本航空（JAL）のコードシェア便が成田、中部セントレア空港、関空、福岡からヘルシンキへ直行便を運航しております。飛行時間はわずか9時間半で「日本に一番近いヨーロッパ」とも言われ、ヨーロッパの観光都市を結ぶハブ空港としても活用されております。

そしてフィンランドは「幸福度ランキング3年連続世界1位」を獲得し、また近年では世界最年少の女性首相が誕生したことで有名です。国の広さはだいたい日本と同じくらいですが、人口は約550万人、国土の75%が森、川、湖です。それではフィンランドの首都ヘルシンキを紹介しましょう。

ヘルシンキ市内の移動はトラム（路面電車）が便利ですが（右写真）、近年は地下鉄が郊外へ繋がり、アウトレットでのショッピングも容易になりました。まずはヘルシンキのシンボルである大聖堂を訪れましょう。その美しさにはただただ圧倒されます。また夏と冬ではその姿が異なって見えるから不思議です。フィンランド人は短い夏を楽しみたいので、大学や一般の職場の夏休みは6月から8月まで3か月もあり、羨ましいかぎりです。8月下旬には落ち葉並木が見られ、日本の晩秋風景です。12月のヘルシンキはお勧めです。街中がイルミネーションで飾られ、人々もうきうきしているように見えます。ちなみに冬は川も湖も凍結するので、現地の人たちは近道として凍った湖面、川面を利用します（私は怖いのでお断りしました。）。

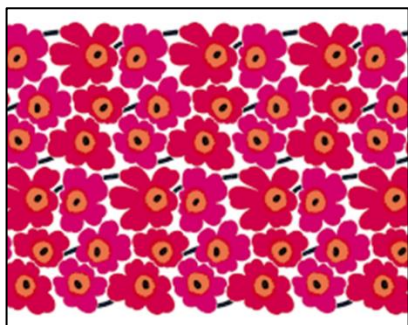


ヘルシンキ大聖堂



イルミネーションで飾られたビル
(12月のヘルシンキ市内)

またフィンランドといえば、デザインが有名で「マリメッコ」、「イッタラ」、「アラビア」などがあります。日本ではマリメッコのユニッコ柄が大人気で、日本にも路面店が多くなり、高松の丸亀町商店街でもみかけました。食事で必ず味わって頂きたいのはサーモンスープ！絶品です。お土産は「KarlFazer」のチョコレートがお勧めです。市内のスーパーマーケットで大量買いをしましょう。



マリメッコのユニッコ柄



絶品のサーモンスープ



KarlFazer のチョコレート

そしてフィンランを紹介するのに欠かせないのが「サウナ」！これはフィンランド語だそうです。フィンランド式サウナは是非お試しください。特に湖のほとりにあるサウナは最高です。市内のビジネスホテルにもサウナがありますが、驚いたのは私が訪問したすべての高齢者施設にも当然のようにサウナが完備されていたことです。



フィンランド式サウナの室内



湖畔にあるサウナ小屋

フィンランドは硬い岩盤のうえに広がった国家ですのでフィンランド人は地震を経験したことはありません。そのためフィンランドからの留学生は地震との遭遇を心配していましたが、幸い、これまで徳島で大きな揺れもなく、全員が安全に帰国できたことを神様に感謝するばかりです。

最後にこのコロナ禍が早期に終息し、北欧旅行を計画できる平穏な日常が訪れることを願って止みません。そしてその際にはフィンランド訪問を是非ご検討ください。今、フィンランドはSDGs 達成度のランキングでも世界3位です。もちろん進んだ社会福祉制度を有しており、超高齢社会を迎えた日本が学ぶべきことがたくさんあります。本投稿が皆様のフィンランド訪問のきっかけになれば幸いです。

コロナ禍にも喜ぶべきことがある

徳島玉翠会員寄稿

中原 大道（平成6年卒）

昨年4月、長女が県外の大学に入学することとなりました。《もし将来そのまま県外で就職することとなれば、家族として寝食を共にする生活は3月いっぱい生涯最後になるかもしれない。》そう感じつつ、残された日々を過ごし、いよいよ旅立ちの日を迎えました。初めて親元を離れての生活の不安や寂しさからか涙を流す娘の姿に、私も涙を流しながら引っ越しからの帰路につきました。

涙なみだの別れから1週間後…、長女は我が家にいました。全国的な緊急事態宣言下で入学式もなく、新しいクラスメートとの会話もさせてもらえないオリエンテーションがたった1時間あっただけ。学校に行ったのはそれだけで後はリモート授業のみ。それなら自宅でもできるので帰ってきたというわけです。

一方お寺の住職を務めている私も、法事や行事がなくなり仕事も収入も激減、アルバイトでもしょうか？かといってどの業種も仕事ができなくて困っている状態。先行きが心配な日々となりました。

しかし、そんな中ですが喜ぶべきことはありました。私も家内も仕事が減って家にいる、県外に旅立ったはずの娘も家にいる、高校生の娘も学校が休みで家にいる。こんなに家族で一緒に過ごせる時間、おそらく生涯二度とないでしょう。当時、子どもが家にいて困るという報道をよく見かけましたが、どこかに旅行や行楽に出かけるでもなく、我が家で家族と向き合える本当に貴重な時間だったはずです。

当時を振り返って娘が言います。「あの頃はご飯が豪華だったなあ。」そうそう、カフェミtainなお洒落なご飯や、スパイスから手作りしたカレー、手作りケーキなど、家でいながら外食しているような食事でした。収入が減っているので、お金はかけていませんが、何より時間があるのでちょっとひと手間かけたことができる。どこかに出かけることもできないし、家でお楽しみというわけです。

もう一つ良いことがありました。コロナ太りとは逆でコロナ痩せ。家でゴロゴロしがちな娘たちに体を動かさせようと始めたウォーキングや動画を見ながらの運動。娘たちは長続きしませんが、私と家内は以来毎日運動する習慣がつけました。

慌ただしく流されるこれまでの日常とは大きく変わった生活の中で、困ったことももちろんありますが、一度立ち止まることで自分の生活やこれからの人生などをじっくり見つめて、心と生活の整理をする貴重な機会となりました。



コロナ禍での団欒

絵画「豁然開朗（津田の松林）」

徳島玉翠会員寄稿

邊見 千香（昭和49年卒）

昨年12月、コロナ禍の自粛期間中、避けられない用事の期限が来て、重い腰をあげて神戸の街へと車を走らせた。車の中から観る街は、いつもと変わりなく人々の行きかう様子は忙しなげである。これがウイルス感染蔓延した場所だとは、到底思えなかった。

用事が必要なのは私ではなく車である。早速預けて代車に乗り込み、事前に予約しておいた波止場町のホテルへ向かった。用事が終わるまで籠る部屋をチェックイン後、ロビーに降りた。クリスマスとはいえ、さすがにこの時期である。数名が天井まで届こうかという程のツリーの前でスマホを向けていた。ロビーの壁面を振り返った時である。その絵画は、何の前触れもなく私の眼の前に現れた。

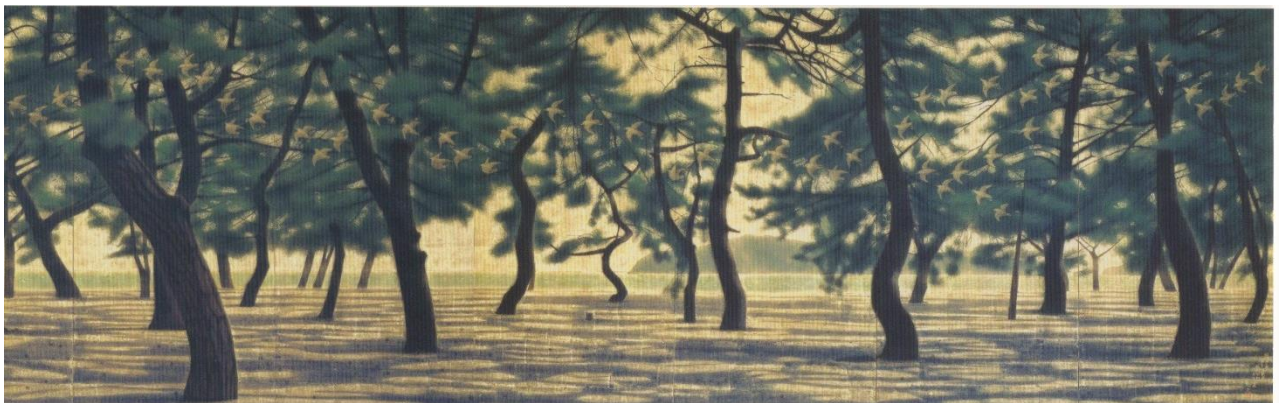
「お待ちいたしておりましたよ。」巨大な額装は、先ほどからこちらの様子を窺っていて、声をかけられた気がした。体から熱いものが溢れそうになる。懐かしい。

18歳まであたりまえのように見慣れた故郷の原風景、白砂青松は、金地を纏い生気に満ちていた。私は絵画と対峙し、暫くの間、穏やかな瀬戸内海の波音を聴いた。

しまなみ海道の生口島にある画伯の美術館を訪れた時に、偶然この作品の絵葉書を手に取ったことはあった。高松市美術館での香川県縁の絵画展を覗いた時にも、手の中に納まる程の小さな松林のデッサン画は、陳列ガラス越しに迫ってきそうな勢いを感じた。そしてこの時初めて絵画「豁然開朗（津田の松林）」を目の当たりにしたのだ。ああ、ここに実物があったんだあ。

後日、絵画のタイトル「豁然開朗（かつぜんかいろう）」の出典を知った。晋の時代、武陵の漁師が沢に沿って歩いて行ったところ、道に迷い途方に暮れた。狭くて心細い先の見えない道を辛抱して進んで行ったところ、ぱっと視界が開け、そこに桃源郷が広がったという陶淵明の漢詩である。鬱蒼とした松林、その先を進むと青く輝く瀬戸の海がどこまでも続く、遠く近くに浮かぶ島々は春に霞む。

今、人々が切望している景色のように思えた。



豁然開朗（津田の松林）1988年 平山郁夫画

徳島玉翠会 会則

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本会 は 徳 島 玉 翠 会 と 称 する。

(目的)

第 2 条 本会 は、会 員 の 相 互 の 連 絡 と 親 睦 を 図 る。

2 本会 は 玉 翠 会 の 徳 島 地 区 に お け る 支 部 と し て、本 部 の も と に 母 校 の 発 展 を 期 する。

(事業)

第 3 条 本会 は 前 条 の 目 的 を 達 する 為 に 次 の 事 業 を 行 う。

一 会 員 相 互 お よ び 母 校 の 発 展 に 寄 与 する。

二 親 睦 を 図 る 為 に 総 会 な ど を 開 催 し、会 報 や 会 員 名 簿 を 発 行 する。

三 そ の 他 の 必 要 と 認 め ら れ る 事 業。

(事務局)

第 4 条 本 会 の 事 務 局 を 徳 島 県 内 に 置 く。

第 2 章 会 員

(会 員)

第 5 条 本 会 の 会 員 は、次 の 資 格 の 一 つ を 備 え る 者 と する。

一 徳 島 県 に 在 住 し、香 川 県 立 高 松 中 学 校、同 高 松 高 等 女 学 校、同 旧 高 松 高 等 学 校、同 旧 高 松 女 子 高 等 学 校 お よ び 同 高 松 高 等 学 校 (以 上 5 校 を「母 校」とい う。)の 卒 業 生 (こ れ に 準 ず る 者 を 含 む。以 下「通 常 会 員」とい う。)

二 そ の 他、本 会 の 役 員 会 が 入 会 を 認 め る 者 (以 下「特 別 会 員」とい う。)

(部 会 の 設 置)

第 6 条 第 3 条 の 事 業 を 行 う た め 部 会 を 設 置 する 事 が 可 能。

2 部 会 の 運 営 は 所 属 会 員 の 協 議 に よ る。

(会 費)

第 7 条 会 員 は 年 会 費 を 納 め る 事 と する。

2 前 項 の 会 費 の 額 は、役 員 会 で 定 め る。

第 3 章 役 員

(役 員)

第 8 条 本 会 に 次 の 役 員 を 置 く。

一 会 長 1 名

二 副 会 長 4 名

三 役 員 と し て、事 務 局 長 1 名、会 計 1 名、監 事 1 名、幹 事 若 干 名、そ の 他 会 長 が 必 要 と 認 め た も の を 置 く。

2 本 会 に、役 員 の 協 議 を 経 て 名 誉 会 長、名 誉 会 員、顧 問 を 置 く 事 が 可 能。

(役 員 の 選 出)

第 9 条 役 員 の 選 出 は 次 の と お り と する。

一 会 長 及 び 副 会 長 は、役 員 会 の 推 薦 に 基 づ き 総 会 で 決 定 する。

二 そ の 他 役 員 は 会 長 が 推 薦 し て 役 員 会 で 決 定 する。

(任 期)

第 10 条 会 長 及 び 副 会 長 の 任 期 は 2 年 と し、再 任 を 妨 げ ない。

2 役 員 の 任 期 は 2 年 と し、再 任 を 妨 げ ない。

(役 員 の 職 務)

第 11 条 役 員 の 職 務 は 次 の と お り と する。

一 会 長 は 本 会 を 代 表 し、会 務 を 統 率 する。

二 副 会 長 は 会 長 を 補 佐 し、会 長 に 事 故 あ る 時 は 会 長 の 職 務 を 代 行 する。

三 事 務 局 長 は、会 長 の 指 示 に 従 い 会 務 を 遂 行 する。

四 会 計 は、会 務 に 必 要 な 収 支 を 管 理 し 総 会 で 報 告 する。

五 監 事 は 本 会 の 会 計 を 監 査 する。

第 4 章 会 議

(総 会)

第 12 条 総 会 は 会 長 の 招 集 に よ り、毎 年 1 回 開 催 する。

2 総 会 に お い て は 次 の 行 事 を 行 う。

一 本 会 の 運 営 に 関 す る 協 議 決 定 と 会 務 及 び 会 計 報 告

二 会 員 の 親 睦 を 図 る 行 事

三 そ の 他、必 要 な 事 業

(役 員 会)

第 13 条 役 員 会 は 会 長 の 招 集 に よ り、適 当 な 時 期 に 開 催 する。

(議 決)

第 14 条 総 会 及 び 役 員 会 の 議 決 は、出 席 者 の 過 半 数 を も っ て こ れ を 行 う。議 長 は 会 長 が 行 い、副 会 長 が 代 行 する こ と が 可 能。可 否 同 数 の 場 合 は 議 長 の 決 す る と ころ に よ る。

(会 計)

第 15 条 本 会 の 会 計 は、年 会 費 お よ び 寄 付 金 そ の 他 の 収 入 に よ る。

(会 計 年 度)

第 16 条 本 会 の 会 計 年 度 は、毎 年 4 月 1 日 に は じ ま り 翌 年 3 月 末 に 終 わ る。

第 5 章 会 則 の 改 正

第 17 条 こ の 会 則 の 改 正 は、役 員 会 の 議 を 経 て 総 会 で 決 定 する。

第 6 章 細 則

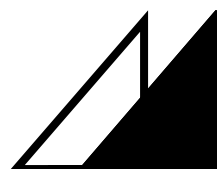
第 18 条 こ の 規 則 施 行 に 関 し、必 要 な 細 則 は 役 員 会 の 議 を 経 て 別 に 定 め る。

付 則

(会 則 の 最 終 改 正) こ の 改 正 規 則 は、平 成 2 1 年 1 月 1 0 日 か ら 施 行 する。

小児科・内科・循環器科・心療内科・神経内科・精神科
精神科デイケア

※臨床心理士によるカウンセリング、精神保健福祉士による、個別相談随時行っています。(要予約)



医療法人 医学生会

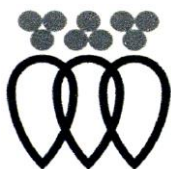
宮内クリニック

徳島市名東町2丁目660-1 ☎ (088) 633-5535

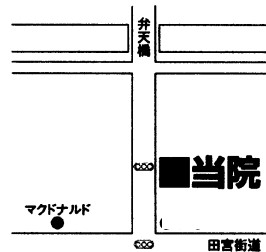
宮内 吉男 宮内 和瑞子(昭和48年卒)



いしたに耳鼻咽喉科クリニック



院長：石谷保夫
(昭和48年卒)



〒770-0006

徳島市北矢三町3丁目2-53

電話：088-633-8741

FAX：088-633-8715

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	○	○	○	/	○	○
午後3:00~6:00	○	○	○	/	○	5:00 まで

休診日／木曜日・日曜日・祝日



いのもと 眼科 内科

院長：猪本享司(内科)・副院長：猪本(旧姓横井)康代(眼科) (昭和50年卒)

〒771-0204

徳島県板野郡北島町鯛浜字かや122-1

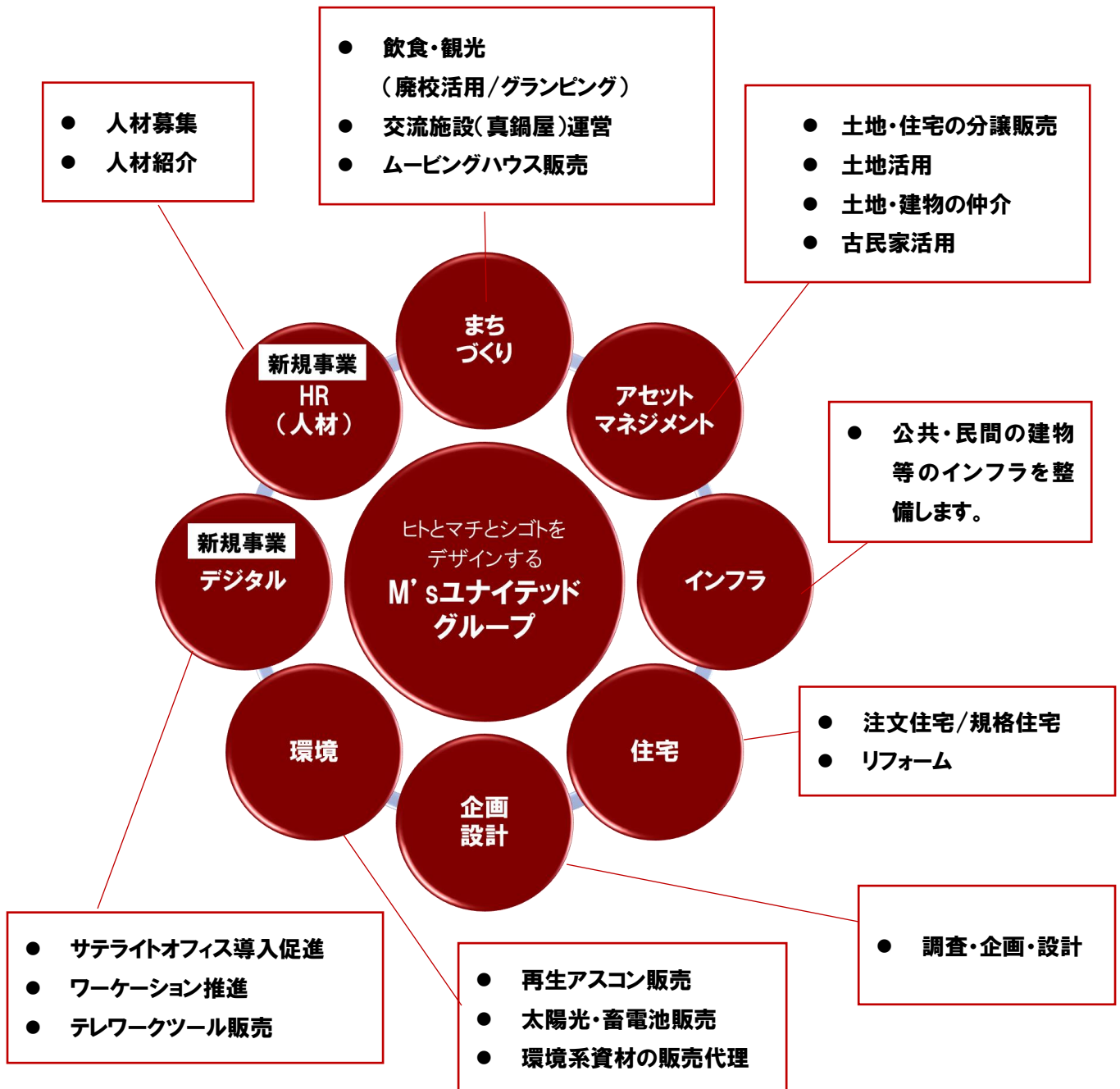
電話：088-698-8887

FAX：088-698-7110

<http://www.inomoto.jp>



まちづくり推進企業へ



丸浦工業株式会社

徳島県三好市池田町シンマチ 1466

代表取締役 丸浦世造（昭和 51 年卒）



第28回徳島玉翠会総会誌

2021年4月30日発行

編集・発行

徳島玉翠会事務局

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村 641-54

坂口方

TEL 090-4974-1934

E-Mail: mjhide@ma.pikara.ne.jp

印刷

松下印刷株式会社

〒770-0874

徳島市南沖洲 5 丁目 7-63

TEL 088-664-5522

FAX 088-664-5527

公式) 徳島玉翠会 HP

<https://gyokusui.org/tokushima/>



←こちらの QR コードを
読み取って、アクセス
してください。